

令和4年

弘前ねふた300年祭
12月11日(日)

- 時 間 13:00～16:30(12:30開場)
- 会 場 弘前市民文化交流館ホール
(弘前市駅前町9-20 ヒロコ4階)
- 申込締切 12月8日(木)

入場
無料
定員120名
(先着順)

ねふた シンポジウム

弘前ねふた300年祭記念
～歴史と伝統の継承、そして未来へ～

プログラム

13:00～ アトラクション

13:40～【基調講演】

「ねふたの歴史と変遷」

【講師】元『弘前ねふた本』編纂委員長 成田 敏 氏



14:50～【特別対談】

「弘前ねふたと青森ねふた

～歴史と伝統の継承、そして未来へ～」



対談者

三浦 吞龍 氏
ねふた絵師



対談者

竹浪 比呂央 氏
ねふた作家



対談者

櫻田 宏

弘前ねふた300年祭
実行委員会 会長
(弘前市長)

下記のいずれかでお申込ください。※空きがある場合のみ当日会場での申込が可能です。

E-mail

裏面の「参加申込書」の内容をご入力の上、件名を「参加申込」にして、
hirosaki-nephuta@kyodo-ad.comへ送信ください

FAX

裏面の「参加申込書」にご記入の上、
専用FAX **0172-36-5306**へ送信ください

WEB

専用申込フォームから申込ください(PEATIXへの登録が必要です)

こちらからアクセスしてください▶▶▶



【お問い合わせ】

弘前ねふた300年祭実行委員会事務局(弘前市観光部観光課内)

TEL 0172-40-0236

申込締切
12月8日(木)

基調講演・講師紹介

元『弘前ねぶた本』編纂委員長 成田 敏 氏

1947年弘前市生まれ。1972年から青森県立郷土館の学芸員。青森県立郷土館では民俗分野を担当し、県内の民俗資料の収集、保存、特別展の企画などを行うほか県内各地の農山漁村の民俗調査を行い、報告書等の執筆、編集にあたった。現在は主に「ねぶた」「ねぶた」の調査研究を行っている。

特別対談・対談者紹介

ねぶた絵師 三浦 吞龍 氏

1952年弘前市生まれ。18歳で弘前ねぶたまつりの絵師としてデビュー。19歳で故石沢龍峽氏に師事。以後51年、ねぶた絵師として活動、数多くの団体の絵を手掛ける。ねぶた、風の絵師でつくる津軽錦絵作家協会の会長でもある。

ねぶた作家 竹浪 比呂央 氏

1959年青森県西津軽郡木造町（現つがる市）生まれ。1989年に初の大型ねぶたを制作して以来、ねぶた大賞、第30回NHK東北放送文化賞はじめ受賞多数。竹浪比呂央ねぶた研究所主宰。青森ねぶたの創作と研究を主としながら、「紙と灯りの造形」としてのねぶたの新たな可能性を追求し続けている。

弘前ねぶた300年祭実行委員会 会長（弘前市長） 櫻田 宏

1959年弘前市生まれ。中学生のときに初めて「組ねぶた」を制作。その後、「弘高ねぶた」や高校卒業後に立ち上げた団体に組ねぶたを制作した。弘前市役所入庁後は観光部でねぶたの振興に携わるほか、平成2年から16年間市役所の組ねぶたの制作責任者を務める。現在は弘前市長として弘前ねぶたの伝統継承や振興に尽力している。

参加申込書

ふりがな			申込者数	人
代表者氏名				
代表者電話番号		代表者居住地 (市区町村)		
特別対談できいてみたいこと(任意)				

12月8日(木)までに下記のいずれかでお申込ください

E-mail 上記の「参加申込書」の内容をご入力の上、件名を「参加申込」にして、
hirosaki-neputa@kyodo-ad.comへ送信

FAX 上記の「参加申込書」にご記入の上
専用FAX **0172-36-5306**へ送信ください

WEB 専用申し込みフォーム（PEATIXへの登録が必要です）

こちらからアクセスしてください▶▶▶



●定員等により、お断りする場合のみ連絡させていただきます。連絡のない場合は、当日会場へお越しください。●個人情報は本事業の運営及び新型コロナウイルス感染症の感染防止対策以外の目的で使用することはありません。●新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、予告なく内容を変更または中止する場合があります。

お問い合わせ

弘前ねぶた300年祭実行委員会事務局
(弘前市観光部観光課内)

TEL 0172-40-0236